

災害訓練について

災害訓練は、災害発生時の迅速かつ適切な行動を促すために行われ、様々な領域の訓練を通じて、自助・共助の意識を養い、実際の災害時の被害を最小限に抑える目的があります。

2月26日（月）、名古屋市消防局と合同で「多数傷病者対応訓練」を行いました。この訓練は、災害により多くの傷病者が発生した時、迅速に医療機関へ搬送できるよう、消防機関と医療機関の連携強化を目的として行われました。

当日は、当院の駐車場を災害現場と想定し、指揮車1台、救急車1台、消防車3台が配置されました。普段見る事のできない災害現場の救護の訓練は、実際に起きているかのような緊迫感や臨場感を感じました。この訓練を通し、消防機関が担う救急活動や救助活動についても学ぶことができました。今後も医療機関として、迅速に傷病者を受け入れることができるよう、当院の救急体制の強化に努めてまいります。また、災害はいつ発生してもおかしくない現在、病院として、幅広い領域の災害訓練をさらに企画・実行していきたいと思ひます。



外来師長 横関 寛子

能登震災支援バザーを開催して

今年1月JCNA名古屋支部の例会に集まった会員から、能登地震で被災した方々の力になれることはないかと声があがりました。交通網が悪くボランティア活動が入れない状況の中で、私たちに出来ることをしようと翌2月27・28日バザーを開催しました。

病院内でのバザーは4年半ぶりでした。『能登震災支援バザー』ということで多くの方に足を運んでいただき、寄付金を含め総額52,059円をカリタスジャパンへ送ることができ本当に感謝しています。まだまだ復興はこれからと《のとせんブログ》でメッセージがあり、今後このような活動を通して、少しでも被災された方に支援が届けられるよう私たちも協力していこうと思っています。

一人ではできないことをJCNAというチームで実現しています。皆様の応援と参加を心よりお待ちしております。

※《のとせんブログ》とは能登半島地震災害支援の為、カトリック名古屋教区が立ち上げた「カリタスのとサポートセンター」のブログです。

日本カトリック看護協会（JCNA）名古屋支部長 鈴木 光恵 看護師

診療報酬改定によるご負担額の変更について

令和6年6月に診療報酬（医療費）の改定が実施されます。通常は2年に一度4月に行われますが、今年度はシステム改修等の期間が考慮され2カ月遅くなりました。

この改定により初再診料や入院料を始め、指導料・検査・投薬・リハビリ・処置などの各医療費が変更され、継続的に受診されている患者さんの窓口負担額も変更となります。ご理解の程よろしく願いいたします。

医事業務課 課長 鈴木 信行

常勤医師採用のご案内

2024年4月に新たに常勤医を迎えました。よろしくお願いいたします。



小児科
小出 若登
医長
専門領域：小児腎臓病
新生児医療



研修医
宇部 博之



研修医
足立 響子

ご寄付のお願い

当院は改築後18年程度経過し、エアコン設備の更新、高度医療機器の整備をしていくための財源確保に苦慮しています。皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。（寄付者に対する税制上の優遇措置も講じられております。詳しくはホームページをご覧ください。）＜お問い合わせ先 経理課＞



聖風

せいふう

2024.5月号

発行責任者／院長 春田 純一 ●編集／総務課 広報係



社会福祉法人聖霊会
聖霊病院
HOLY SPILIT HOSPITAL

〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
Tel：052-832-1181
<https://www.seirei-hospital.org>

21



新院長 就任のご挨拶



院長 春田 純一

2024年4月から院長に就任いたしました春田純一と申します。今から41年前の1983年4月に医師免許を取得し、当時の名古屋第一赤十字病院で研修を開始したのが昨日のこのように思われます。途中で名古屋大学に帰局、関連病院に赴任した5年を除き36年に渡って第一日赤で勤務していました。専門は内視鏡診療を中心とした消化器内科です。地域基幹病院として救急医療、がん医療などを担っていました。縁あって当院院長を拝命し、新たな一步を踏み出す事になります。当院は1945年終戦直後からキリスト教の博愛精神をバックボーンに「愛と奉仕」の精神で地道な地域医療を80年近く担ってきたと認識しております。内海理事長の下、森下元院長、春原前院長が、時代の変遷に対応しながら苦勞して病院運営をされてきたと伺っています。

今年は大幅な診療報酬改定、働き方改革の実施など医療を取り巻く環境も大きく変わります。前途は決して楽とは言えませんが、職員一丸となって乗り切りたいと思っています。微力ですが、自分のことから取り組んで行きたいと思ひますのでご協力をお願いしたいと存じます。

新副院長 就任のご挨拶



副院長 石原 政光

2024年4月1日付けを持ちまして副院長に就任いたしました石原政光です。就任にあたり、皆様方にご挨拶申し上げます。

私が当院に赴任したのは2001年のことで、循環器内科を中心に幅広く内科疾患の治療に取り組んでまいりました。

超高齢化社会を迎え、どの医療機関でも患者様の多くはご高齢となっております。ご高齢の方は、元気な方からフレイルの方まで多様性が大いことが特徴であり、それぞれの生活機能を評価して対応していく必要があります。また複数の疾患をお持ちの方が多く、縦割りの臓器別の診療では十分な治療を行うことは難しくなります。当院内科では、それぞれが専門性を持ちながらも臓器別にとらわれることなく、同僚医師・薬剤師・栄養士などとの連携をとりながら全人的に診る医療に取り組んでおります。

これからも今以上に地域に密着した病院を目指し、一人でも多くの方に「何かあったら聖霊に相談すれば大丈夫」と言っていだけるよう取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

補助制度を利用して健康管理に努めましょう！

名古屋市委託がん検診について **健康診断**

当院にて健診を実施していることは、皆様ご存知かもしれませんが、今回は名古屋市のがん検診について説明させていただきます。

名古屋市のがん検診はワンコイン検診とも呼ばれ、自己負担金500円で受けられます。

名古屋市に住民票がある方が対象です。

また、無料クーポンが配布されるご年齢に該当する方は、無料で受けることができます。よく、「無料クーポンが届いていないのだけど…」「がん検診受けるのに何か証明書がいるの？」と聞かれますが、無料クーポンがなくても対象のご年齢であれば受けられます。また、がん検診を受けるのにどこかで証明書を貰って来なければいけない、なんてことはありません。生年月日を確認出来る物（免許証や保険証等）があれば大丈夫です。

さらに、70歳以上の方や医療証をお持ちの方は全て無料です。

その他、生活保護世帯や市民税非課税世帯の方も無料ですが、この場合は書類が必要です。書類等発行については保健所へお問い合わせください。

＜令和6年度より、無料クーポンの対象検診が増えました。＞

今までは肺がん・胃がん・前立腺がん検診に無料クーポンはなかったのですが、これら全てに無料クーポンが対象となる
ご年齢が出来ました。無料クーポン対象年齢はがん検診の種類によって異なります。詳しくは名古屋市ホームページをご
覧ください。

6月より国民健康保険の方は特定健診（30・35歳、40歳以上の方）も始まります。

ご一緒にがん検診を受けられる方が多数です。

この機会にぜひご利用ください。がん検診のみでのご予約も承っております。5月は比較的空いておりますので、ご予約が取りやすいです。（国民健康保険の特定健診は6月からです。）

当院では令和5年度より、DWIBSドックや名古屋市のもの忘れ検診が新たに始まりました。今後も様々な健康診断をご提案出来るよう、努めてまいります。



「病気の早期発見・早期治療に繋がることを願っております。」

【当院で実施している名古屋市のがん検診】

- ① 肺がん検診（胸部レントゲン検査）40歳以上
- ② 胃がん検診…胃透視（バリウム）40歳以上
胃カメラ（内視鏡）50歳以上
- ③ 大腸がん検診（検便）40歳以上
- ④ 前立腺がん検診（採血）50歳以上
- ⑤ 乳がん検診（マンモグラフィ）40歳以上
- ⑥ 子宮がん検診（子宮頸部細胞診）20歳以上
- ⑦ 骨粗鬆症検診（腰部・大腿部のレントゲン検査）
40・45・50・55・60・65・70歳以上
- ⑧ B・C型肝炎（採血）
- ⑨ ピロリ菌検査（採血）20～39歳
- ⑩ 胃がんリスク検査（採血）40～59歳
- ⑪ もの忘れ検診（診察）65歳以上

※2年度に1回や1回限りのものがございます。



医事業務課健診係 係長 鈴木 直子

子どもの予防接種について



当院小児科では毎週水曜日午後に予防接種を実施しています。予防接種は感染予防、発病予防、重症化予防を目的としており、種々の感染症から子どもたちの健康・命を守ることが期待できます。2024年4月から今までの四種混合（ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ）ワクチンにヒブを加えた五種混合ワクチンが開始となりました。また小児肺炎球菌ワクチン是对應する型が13から15価へ増加したワクチンへ変更となり、小児の定期予防接種がさらに充実しました。当院では五種混合、四種混合、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、BCG、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、ロタ(ロタリックス)、二種混合（ジフテリア、破傷風）、おたふくかぜ、インフルエンザの各ワクチンの接種を行っております。

名古屋市では、標準的な接種月齢・年齢の頃に予防接種のご案内とシール式接種券がご自宅に届きますのでご利用ください。当院小児科予防接種のご予約は平日14-16時、土曜（第2、第4）9-12時で承っております。お手元に母子手帳の予防接種記録、診察券をお持ちの場合は診察券番号をご用意の上、お電話ください。

小児科診療科部長 今峰 浩貴

嚥下食改善への取り組み ～やわらか食の導入～



提供後も食材の変更や切り方など、より精度の高い食事となるよう日々調整を重ねています。常に患者様の気持ちになり、また楽しみとなる食事であるよう給食会社のスタッフとともに食事、栄養のサポートに努めていきます。

やわらか食とは歯茎で容易にすりつぶすことができる嚥下食のことで、日本摂食嚥下リハビリテーション学会の嚥下分類コード4に相当します。当院の嚥下食は主にミキサー食、ソフト食、キザミ、一口大等ありますが、コード4として提供していたキザミ食は咀嚼困難な方でも食べやすい反面、何を食べているかわからないことや食材が混ざり彩りが悪くなってしまうこと等、様々な問題がありました。

そこで刻むことなく食材の形をそのまま活かしながらも、やわらかくなるような食事形態の改良に取り組みました。食材の選定、切り方、圧力鍋での調理、加熱時間の調整、酵素の使用等を駆使し試作を繰り返した結果、今年の2月にやわらか食が完成しました。

看護部について

栄養科 科長 剣持 千佳子

ライフサイクルと仕事の両立ができる

看護部のモットーは「楽しく仕事をする」。楽しく仕事
が出来る事は、働きやすい職場環境であると同時に、スタ
ッフの満足度向上により、看護を通して患者・家族への満
足と信頼へとつながることを目指しているからです。そし
て、近年では働きやすい職場環境として多様な雇用形態を
取り入れ、ライフサイクルと仕事の両立ができるような取
り組みを強化しています。

また、少子超高齢化が進み、働き方改革や生活様式が多様化する時代に、スタッフ一人ひとりが自立し環境の変化に柔軟な対応が出来る「適応力」を身につけ、判断・行動できる人材育成をミッションとして研修や教育活動を行っています。主体性を持ち時代のニーズに適応していくことで、地域との連携をより円滑に図り、患者さんに安心・安全・満足していただける看護の提供を目指しています。

看護副部長 九澤 美保



2024年度入職の看護職員

今年度も新入職員を迎え入れ、益々、活気ある職場となっています。

個々のレベルに対応した院内研修制度

看護部の教育は「時代の変化に対応できる人材の育成」のミッションのもと、クリニカルラダー（看護師の能力やキャリアを評価し、成長を促すための指標）を取り入れ、新人看護師からベテラン看護師まで個々のレベルに対応した院内研修制度を設けています。

新人看護師研修では、4月は集合研修を中心に、新社会人としての接遇、社会人としてのマナーや基礎看護技術を行っています。その後は現場の教育だけでなく、集合研修を行い看護師として自立できる教育体制を整えています。すべての看護師の「できるかな」「不安だな」という思いを、「できた!」、「楽しい!」と思えるようにレベルに応じた研修を行い、看護部全体の質の向上とな

れる教育支援を行っています。

また、看護研究にも力をいれています。毎年愛知県立大学看護学部にご支援いただき、日常業務で感じる疑問や改善すべき課題を明らかにし、その成果を看護の実践に活かし、よりよい看護が提供できる環境を整えています。院内教育以外にも、e-ラーニングの活用や学会、院外で行われる研修や講習会の参加へのサポートも行っています。

教育担当師長 横江 由紀子

